

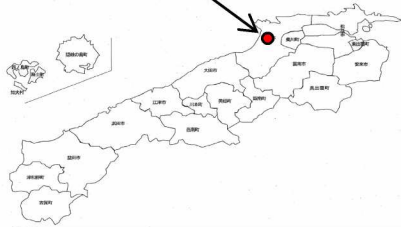
農地集積による農業経営の効率化と安全・安心な農業を目指して

あらかや
荒茅地区(島根県出雲市荒茅町)

「効率的かつ、安定的な農業経営」を理念として

事業地区の概要

- ・事業名: 県営ほ場整備事業(担い手育成型)
- ・受益面積: 22.3ha
- ・工期: 平成14年度～平成18年度
- ・総事業費: 325百万円
- ・土地改良区: 出雲市土地改良区
- ・農業経営のタイプ: 組織経営展開型



《地区の紹介》

【事業実施の契機】

本地区は肥沃な出雲平野に位置した農業地帯であるが、昭和34年度の土地改良事業実施から40余年が経過しており、用水路の老朽化、排水路(土水路)の断面不足、ほ場面積や農道幅員の狭小により、大型機械の導入が阻害され、営農の合理化、転作の推進に支障を生じていました。

このため、区画の形状と道水路の整備により、大型機械の導入を可能とし、生産性の高いほ場に再整備するとともに、地区の担い手の確保と農地の集積を目指すこととなりました。

【事業内容】

区画整理: A=22.3ha (整地工A=22.3ha、用水路L=1.9km、排水路L=2.4km、道路L=2.7km)
暗渠排水: A=18.0ha 近代化施設整備: 1箇所

【事業実施の効果】

大型機械の導入により、水稻・麦・そばの効率的な生産が可能となり、労働時間が短縮され、生産費を低減することができました。事業を契機として、担い手確保の気運が高まり、継続性のある営農が可能な集落営農組織の設立が検討され、ほ場整備事業の順調な進捗に伴い、大型機械の導入にあわせて法人化が一気に進みました。

【今後の取り組み】

出雲市の営農組織の先駆けとして、市全体の担い手育成の見本となるよう努力し、新たな作物の模索、直売などの検討が進んでいます。

麦はビール会社と契約栽培されており、おいしいビールになります



麦の刈り取り状況

「おいしく、安全で安心な品質」を目指した農業経営を行っています



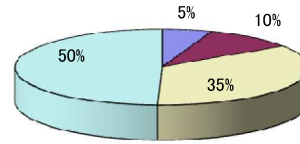
そばの栽培状況



園児によるそばの種まき

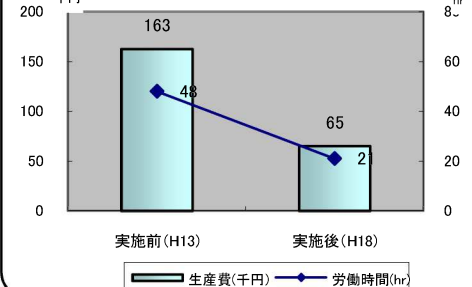
●大区画化による農作業の効率化と経費の節減

区画規模別面積割合



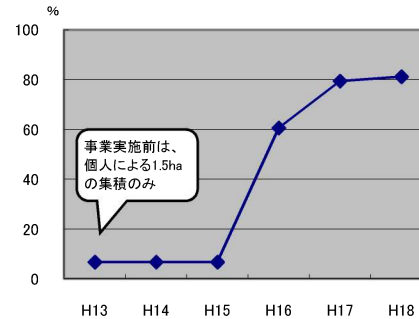
■0.2ha未満 ■0.2~0.3 ■0.3~0.5 ■0.5ha以上

水稻作業の効率化(10a当り)



●集落営農による農地の集積

営農組合による集積率の変遷



事業実施前は、個人による1.5haの集積のみ

法人化への流れ

- H14.3.29 荒茅地区事業採択
- H14.8.16 荒茅東営農組合設立
- H17.2.13 農事組合法人となる
- H17.3.16 特定農業法人として認可(旧出雲市初)



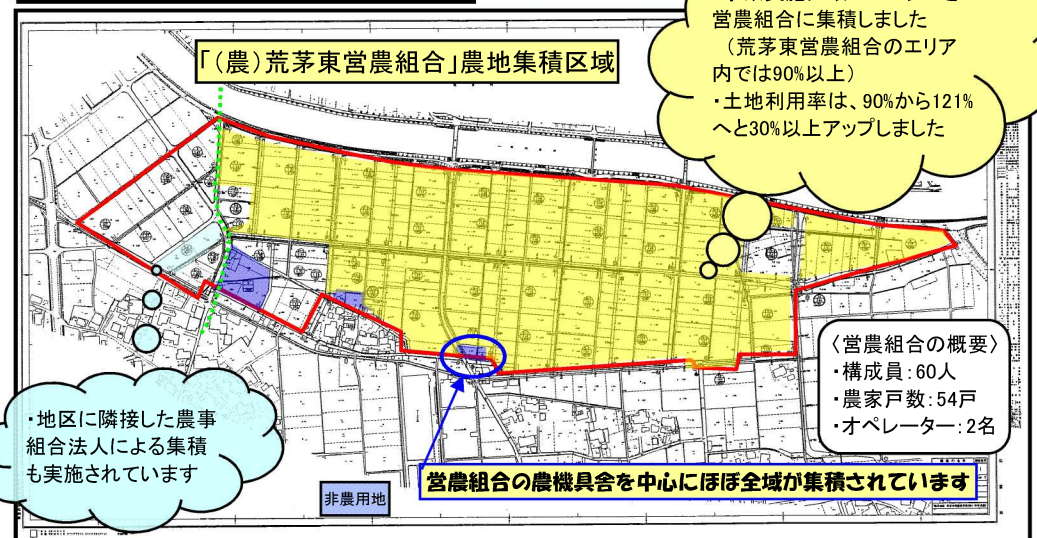
そばの収穫



営農組合農機具舎

・事業実施区域の80%以上を営農組合に集積しました(荒茅東営農組合のエリア内では90%以上)
・土地利用率は、90%から121%へと30%以上アップしました

「(農)荒茅東営農組合」農地集積区域



・地区に隣接した農事組合法人による集積も実施されています

非農用地

営農組合の農機具舎を中心にほぼ全域が集積されています

- 〈営農組合の概要〉
- ・構成員: 60人
 - ・農家戸数: 54戸
 - ・オペレーター: 2名